

地域貢献型SDGs×パートナーシップで継続的に成果が出る！

中小企業でもできる SDGs経営の教科書

2022年1月24日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は藤田 源右衛門著『中小企業でもできるSDGs 経営の教科書』を2022年1月24日(月)に刊行いたします。

中小企業におススメは「パートナーシップ」

多くの中小企業が「どのように取り組んでいいかわからない」「成果が出ない」と悩むSDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)。著者が実践しているのが、「地域貢献型のSDGsにパートナーシップを使って取り組むこと」。地域の課題を他の企業や団体とともに解決することによって認知度を高め、大きな成果をあげて、金融機関等からの評価も高い。小さな会社でも無理なく実践できる経営手法を体系化。事例とともに具体的に解説する。

中小企業でもできる

タイトル:SDGs経営の教科書

ページ数:272ページ

著者:藤田 源右衛門

価格:1,650円(10%税込) 発行日:2022年1月24日

ISBN:978-4-86667-324-0

【目次】

プロローグ 中小企業のSDGsの取り組みを見てみよう

第1章 中小企業がSDGs経営に取り組むべき理由

第2章 SDGsの視点で自社の事業を再定義する

第3章 中小企業におすすめるのは17「パートナーシップ」

第4章 パートナーシップによるSDGs取り組みの実際

第5章 SDGsへの取り組みを知ってもらう方法

第6章 中小企業のSDGs経営が目指すべきもの

【著者プロフィール】

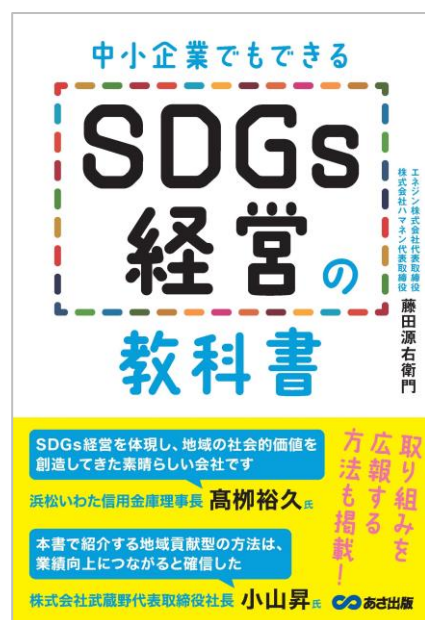


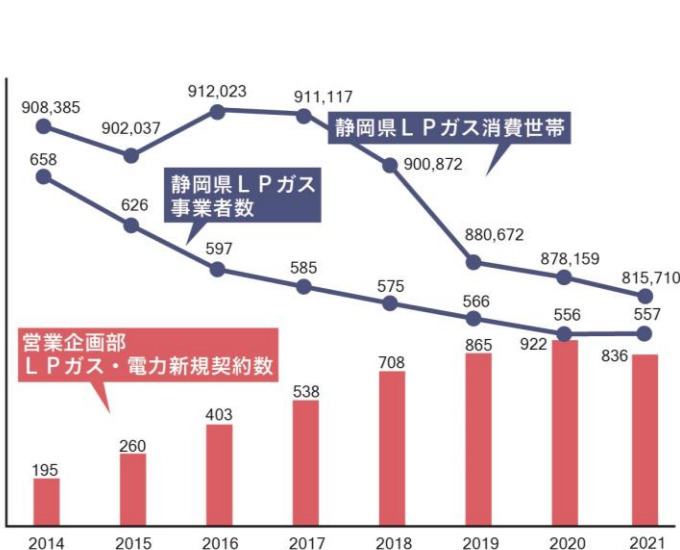
藤田 源右衛門(ふじた・げんうえもん)

エネジン株式会社代表取締役社長

株式会社ハマネン代表取締役社長

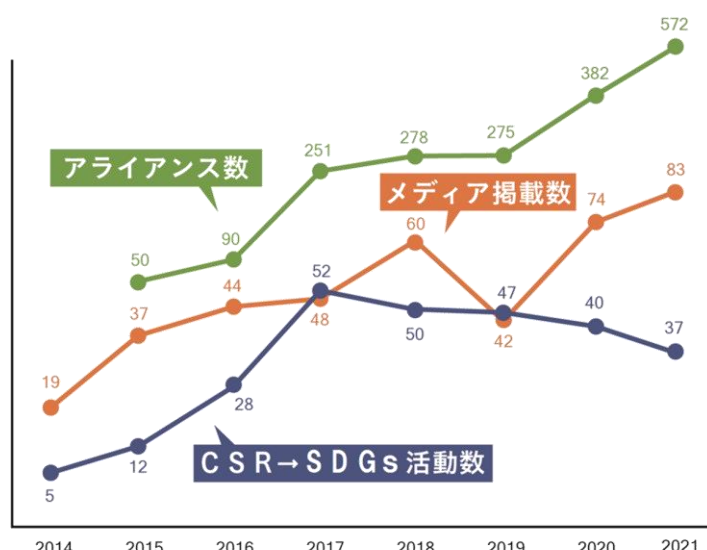
1970年浜松市出身。早稲田大学商学部卒業。公認会計士として監査法人勤務後、(株)ハマネンに1998年入社、2001年代表取締役社長就任。2004年(株)ハマネンと丸善ガス(株)が統合してエネジン(株)発足、現在に至る。CSR 活動から発展した「地域貢献型SDGs×パートナーシップ×広報活動」の取り組みが大きく注目を浴び、全国からの視察が絶えない。





※2016 年より電力販売

※2021 年は組織再編に伴い一部減少が生じた。



パートナーシップによるSDGsへの取り組みの実際

※本書より一部抜粋要約

**備蓄食糧を有効活用して
フードロス解決に取り組む**

企業視察ツアーで地元企業を紹介

(画像は浜松・浜名湖テクニカルビジット パンフレット)

エネジンは

災害用備蓄食糧を

生活困窮者支援団体へ寄贈します

11.18(木)
10:00~

浜松市社会福祉協議会
仮設事務所
浜松市中区寺島450
(田辺小学校敷地内)

食糧を得られない人が溢れている一方で食糧を消費されず廃棄せざるを得ない状況が生まれるフードロス問題。エネジン株式会社では地域のライフラインを担う立場として防災に関する取組みを強化してきました。

地域を守るライフライン会社として災害に強いまちづくり

エネジン株式会社では賞味期間が短くなった災害時備蓄用食糧の有効活用として、食糧面から生活困窮者支援を行っている浜松市社会福祉協議会様に 435 食分の災害時備蓄用食糧を寄贈させていただきましたこととなりました。またローリングストック法で普段から非常食を食べればフードロスにも繋がるため、非常食のアレンジレシピ・調理動画も同時に配信していきます！フードロスやBCP、そしてSDGsの考えを伝えていきたいと思ひます。

誰一人取り残さないために

非常食のアレンジレシピは『タイムカプセル』
浜松市中区東2-20-30 ウイングヘルズ東1F』が
考案。同店を経営するNPO法人トータルケア
センターは、障がい者の就労・生活支援を積極

的に推進されています。コロナ禍に際しむ
飲食店との協業企画ということで実現しま
した。今後におきましてもエネジン株式会
社としては、災害時備蓄用食糧の寄贈
を通じて、浜松市社会福祉協議会様の支
援活動を継続していきます。

レシピの詳細はこちらから！

[illegible]

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ
古垣（フルガキ）TEL：03-3983-3225 090-4424-6911 furugaki@asa21.com
株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階